



2025-2026年度 坂本 忠光会長

週報 No.2305  
発行 2025年 11月 20日

2025-2026年度  
会長 坂本 忠光  
幹事 大木 崇寛  
副会長 齋藤 哲雄  
副幹事 奥川 淳一  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 寺脇 貴浩

行事予定

11月29日 親睦活動野外例会  
芋煮会  
於：上尾丸山公園  
バーベキュー場

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。  
前回の例会からの報告です。10月25日、米山学友会主催の日帰り研修旅行で、米山記念奨学生・王さんと一緒に、日光東照宮と大谷石探掘場跡地に行ってきました。また11月1日には、国際ロータリー第2770地区、会員増強維持部門、職業奉仕部門の合同事業「いこそ仕事の話をしよう」と題して、メイクアップアーティストのイガリシノブさんの講演会に参加してきました。  
話を戻して日帰り研修旅行についてですが、日光東照宮では傘を差して奥宮まで上がっていました。奥宮は、御祭神の徳川家康が祀られている墓所ですが、眠り猫をくぐって207段の石段を上った先にあります。足下に注意しながら207段上り、207段下りなければなりません。その結果、1週間近く両膝が痛く歩くのにちょっと苦労しました。  
ここで徳川家康公が祀られている日光東照宮について勉強しましたのでお話しします。徳川家康が亡くなった同年、遺命によって久能山に葬られました。御遺体も納められ久能山東照宮が完成したそうです。翌年、これも家康公の遺言で、本光国師日記に「遺体は久能山に納め、江戸の増上寺で葬儀を行い、現在の愛知県の大樹寺に位牌を納め、一周りが過ぎたならば日光山に小さなお堂を建てて、勧請（かんじょう）して神として祀ること、そして八州の鎮守となろうと残されているそうです。勧請とは神道で言う分霊にあたり、仏教で言えば分骨にあたるようで、分霊し他の神社に移すことを意味するそうです。また家康が目指した八州の鎮守とは、日本全土の守り神として徳川幕府の安泰と日本の恒久平和を守ろうとしたと伝えられています。ちなみに日光東照宮は、日本全国の東照宮の総本社の存在であり、久能山東照宮、上野東照宮と共に三大東照宮の一つに数えられているそうです。位置的なことでは、久能山東照宮が家康の御遺体が祀られているところで、そこから富士山の山頂に向かって直線を伸ばすと日光東照宮に到達します。不老長寿信仰の霊峰富士山を通して日光東照宮まで行くということで、この直線の道は「不死の道」とも言われているそうです。また徳川家菩提寺の増上寺から江戸城を通り真北に位置するのが日光東照宮となっています。この直線の道は「北辰の道」と呼ばれています。北辰とは北極星のことで、古代中国において北極星とは真北に常に位置し不動の星であり宇宙を主宰する神と認識されていて、この思想が日本にもたらされたそうです。この二つの道から徳川家康がよみがえり神となり、不動の北極星の位置から日本全土を見守る八州の鎮守となり、朝廷から「東照大権現」という神号（しんごう）をもらって神格化されたということらしいです。本日もどうぞよろしく願いいたします。

幹事報告

齋藤 哲雄 副会長

大木幹事はインフルエンザのため本日は自宅療養で欠席させていただきました。  
◇今月のロータリーレートは1ドル＝154円です。  
◇次週は地区大会に振替になります。地区大会2日目＝11月16日（日）点鐘12時30分、戸田市文化会館にて行います。現地集合となります。  
◇11月20日は時間変更で夜間例会となります。  
◇9月の第3例会で行いました、上尾市子ども若者自立支援事業「ルームここから」への家電製品の寄贈について、上尾市長からお礼状が届きました。  
◇米山記念奨学部門の「感謝の集い」が、12月7日（日）18時より大宮パレスホテルで行われると案内が届いています。



例会主題～会員卓話

損害賠償事例にみる危機管理のいま

宇多村 海児 会員

自分史第2章ということで、今後は会員卓話を中心に進めていきたいということで、その第1回目としてプログラム委員長の私が担当させていただきます。



まずは労働問題についてです。業務中の事故で、1億円以上の、保険会社が関わった高額賠償判例をお話しします。あまり知られていませんが、いわゆるメガ損保から選抜された担当者が各省庁に出向しています。国、行政の方で手が回りきれないものについては、民間である保険会社ができるだけカバーする、その問題点を国と行政と民間の保険会社で擦り合わせて、次のステップに行こうというようなソリューションを作り上げています。保険会社の担当者が今、最も多く出向している省庁は、厚生労働省です。結論を言うと、保険会社が今念頭にあるのはもちろん2大分野である自動車保険とか火災保険ですが、3つ目の分野、さらに21世紀後半に向けて、日本の経済を支える第一要素、中小企業の労働環境をいかに健全なものに方向付けていくかというところに注力しています。従いまして業務中の事故は、昭和後期の年間5000件を頭打ちに、徐々に減っています。各企業の努力や、周りのコンプライアンスの危機管理の面が浸透してきて、令和6年では労災の死亡事案の件数が700件ぐらいいま下がっています。

まず雇用の問題、京都地裁の令和5年3月の判決です。被告は割と大きな運送会社で、原告は従業員Aさん、運転手です。Aさんは退職をしました。会社の求めに応じて退職を余儀なくされた、その退職勧奨がちょっと普通のやり方ではなかったのではないかと訴えて、地位確認、未払賃金、慰謝料として500万円を支払えという訴えでした。これだけ見ると、普通にどこが悪いのかなと思われると思いますが、このケースがちょっと変わっているのは、採用時にこの従業員Aさんが「私はうつ病である」と記載して、採用担当者は、そこを正直に申告してきたことに好意的な印象を持ち、しかもAさんの担

委員長報告

国際奉仕委員会 大木 保司 委員長

今月は移動例会等があるので、先にご報告させていただきます。台南東北RCさんの周年祝賀会への台湾ツアーは総勢13名になりました。高尾空港と台南新幹線駅両方にお迎えに来てくれるそうです。12月1日に祝賀会を行い、2日午前中に、今後の合同奉仕についてや、当クラブ65周年記念など、交流関係について会議を行う予定です。  
現地へのお土産をクラブの交流費から頂ければと思います。よろしくお願いいたします。



委嘱書授与

地区の米山記念奨学部門委員長を務めた島村健会員に、2026学年度ロータリー米山記念奨学生選考面接委員の委嘱書が授与されました。



当医の業務に問題ないという証明書も合わせて提出をしてきたこともあって、運転業務に就くことができると判断して採用しました。しかしAさんの入社後、人事担当者により精神障害3級で薬を服用していることが発覚し、一度入社してしまったけれども、運転できないので退職勧奨をするよう告げ、退職に至りました。採用担当者は普通に退職を促し、Aさんも一応納得して退職届を自分で書いて、勧奨をした2日後に退職しました。これだけ言うとなんか問題なさそうですが、裁判の結果、会社はAさんに慰謝料として80万円を支払えという判決になりました。裁判所が80万円の根拠として挙げたのが、退職勧奨に至るまでのプロセスがなかったのではないかとことです。採用担当が詳細を確認する間もなく退職勧奨というステップに進んでしまったのが問題で、退職勧奨する前、あるいは入社前に、Aさんの担当医に問い合わせなどの配慮があったかどうか、またその結果に応じて運転ではなく他の業務はできるのではないかと会社側が示したかどうか、裁判所が問題にしていたと資料に書いてありました。

次は横浜地方裁判所 令和7年3月の判決で、法律事務所が被告になった珍しいケースです。被告は法律事務所の所長弁護士A、及び共同経営者のパートナー弁護士B。原告はそこに長年勤めていた女性事務員です。女性事務員は長年にわたる暴行や、暴言、セクハラによりうつ病を発症し、休職を余儀なくされました。休職期間満了をもって即解雇になり、それは無効であると、所長弁護士Aと共同経営者弁護士Bの共同不法行為に基づき損害賠償を求めました。裁判所は女性事務員の主張をほぼ全面的に認めて解雇は無効であると判断、所長弁護士Aだけに対して約960万円の損害賠償を命じたということです。やはり裁判所としても、暴力、暴言、セクハラに対して厳しく臨むということが非常によく表れている判決だと思います。

今お話しした2つの事例ですが、会社あるいは社長、経営者を守るために、いま保険会社が力を入れているのは「使用者賠償責任保証保険」と、「雇用慣行賠償責任補償保険」です。会社の規模、業種、どれだけの補償が必要かということによって、年間の保険料はだいぶ変わってきますが、もしもまだ会社として入っていないようでしたら、ぜひ一度見積もりを取り寄せていただければと思います。

次は交通事故の事例で、人身傷害保険を見直して

ほしい、車両保険に入ろう、です。まず人身傷害保険は、自動車保険の3つの基本保障、対人賠償、対物賠償、これは賠償です。人身傷害保険だけは、自分の怪我のことになりますので、交通事故が起こって、死ななくても治療が必要、あるいは亡くなってしまったという時にカバーするのが人身傷害保険です。生命保険とは違うのですが、実質生命保険とされます。最高の賠償額とまではいかないでしょうが高額な事例を紹介します。平成23年11月の横浜地方裁判所、被害者は眼科開業医の41歳男性、交通事故で死亡しました。損害賠償額5億3千円、そのうち遺失利益として認められたのがなんと4億8千万円という非常に有名な交通事故です。これはお医者さんである被害者が、道路を徒歩で横断している時に、直進してきた車にはねられて亡くなったという事故で、4億8千万円は全額、保険から支払われています。死亡した方の社会的属性、生きていればあとどれだけ稼げたか、利益を生み出したかといったことを勘案して、最終的にライブニッツ係数で計算されますので、生命保険ではありませんが、額面も決まっていな生命保険となります。ぜひ人身障害保険契約を無制限にしていきたいと思います。車両保険も同じ考え方ですが、今、任意保険未加入者による事故が急増しています。任意保険未加入どころか自賠責にも入っていない自動車を運転している外国人が多いです。実際、私のお客様の中にも、任意保険未加入者による衝突事故、外国人による衝突事故が結構な割合で発生しています。そういった人と衝突すると、何の補償も得られないわけです。人身障害保険契約を自分の車の保険につけておけば、相手が保険に入っていなかったとしても、泣き寝入りにならず、そこから払ってくれるところがありますので、我が身を守るという意味では、人身障害保険はぜひ無制限にしていきたいと思います。（このほか2件の事例を紹介）

長くなりましたが以上となります。ご清聴いただきありがとうございました。



宇多村会員、卓話を披露していただき  
ありがとうございました !!

村岡会員 妻の葬儀の折にはクラブ及び会員の皆様よりいろいろお氣遣いを頂きましてありがとうございました。

坂本会長／齋藤哲雄副会長／大塚信郎会員／尾花会員／大木保司会員／大塚崇行会員／島村会員／関口和夫会員／樋口会員／宇多村会員／長沼会員／門崎会員／木田会員／荒井会員／小山会員

出席率

会員数	33
出席免除	1
出席対象者	32
出席者数	16

50.00%

第3083回例会 2025.11.16 地区大会が開催されました

国際ロータリー第2770地区「地区大会」が戸田市文化会館で開催されました。  
○表彰で当クラブはボールハリス・ソサエティ純増第3位でガバナー特別賞を受賞しました。  
○記念講演では、ドラマ『下町ロケット』のモデル、北海道にある植松電機植松努社長による「思うは招く」。「どーせむり」という言葉をなくし、「だったらこうしてみたら」という知恵と工夫で世界を救いましょう、よりよい未来のために手をとりあいましょうというメッセージを語っていただきました。  
○米山記念奨学生紹介では、当クラブがお世話をしている王曉瑜（おう・ぎょうゆ）さんも登壇しました。  
○参加クラブ紹介では、坂本会長が登壇しました。  
○そして公共イメージ部門さんが開催したポリオ根絶フォトコンテストで当クラブの応募が第2位となり、大懇親会で表彰されました！



例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303  
例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

